カンボジア通信　最終号 2012 年 7 月 5 日

昭和秀英高校 2 年生の皆さん。こんにちは！

元青年海外協力隊箱崎　靖子です。私は 2012 年の 6 月 20 日に無事帰国しました。カンボジア派遣中に応援メッセージをくれた皆さん、心の中で応援してくれた皆さん、本当にありがとうございました。

カンボジア通信も今回で最終号です。さみしいですね～。さてそんな今回は「青年海外協力隊ってどんな人？」というテーマで、私の周りの仲間たちを紹介したいと思います。

1、青年海外協力隊ってこんな人

森　夕希子　隊員

派遣国　カンボジア

職種　小学校教諭

派遣期間　2011 年 1 月－2013 年 1 月

◆高校文理選択　（　文系　）

◆高校のときは？

学生生活を謳歌していました。

◆どんな活動をしているの？

カンボジアの小学校で音楽と体育の授業のお手伝いをしています。

◆どんなときに活動が楽しいと感じる？

配属先の先生が積極的に授業をしていたとき！！

子ども達が授業を楽しみにしてくれていたとき！！

カンボジア人の笑顔をみれたとき！！

◆10 年後はどこで何をしていたい？

そのときにやりたいことをしていたい！！

子どもと関わる仕事をしていたいと思います。

加瀬　貴隊員

派遣国　カンボジア

職種　プログラムオフィサー

派遣期間　2011 年 3 月～2013 年 3 月

◆高校文理選択　（文系）

◆高校のときは？

友達と遊んでばかりいました。居眠り常習犯でよく担任に怒られました。高校生活が人生で一番楽しい時だと思っていた（でも 30 代の今も同じくらい楽しい）。

◆どんな活動をしているの？

教育委員会の職員に、中途退学や留年してしまう生徒の現状を理解してもらい、改善に役立つ活動を考えてもらう。

◆どんなときに活動が楽しいと感じる？

カンボジアの人々が自分自身でカンボジアの問題に気付いて、改善のための活動を考えて、解決のための努力をしている姿を見られるとき。そこに、ほんの少しでも、自分もいっしょにかかわれたと感じられた時。

◆10 年後はどこで何をしていたい？

世界のどこかで、そこに住む人たちの笑顔づくりのお手伝いをしていたい。

椎野もなみ隊員

派遣国　カンボジア
職種　　服飾
派遣期間　2010 年9月~2012 年9月

◆高校文理選択（　文系　）
◆高校のときは？
何事に関しても積極的じゃなかった。
◆どんな活動をしているの？
職業訓練校の資金を稼ぐためおみやげの開発、販売をしている。
◆どんなときに活動が楽しいと感じる？
生徒が私が考えた商品を自分用に作って、使ってくれた時、またその商品を「私たちの商品」って言ってくれた時！
◆10 年後はどこで何をしていたい？
日本の田舎で伝統工芸を生業にして生きていたい！

2、協力隊の日々を振り返って

カンボジア派遣の直前、私は色々な方から声をかけられました。「協力隊へ参加するなんてすごいね」
その言葉を聞くたびに私は心の中で反発していました。「まだ何もしていないのにすごくなんかない！」
カンボジアで生活して半年程経った頃、私はやっぱりこの言葉にこだわっていました。「すごいと言われる協力隊員としてカンボジアに来たはずなのに、私は何一つ「すごい」事が出来ていない。。。
そして、2 年間の隊員生活を終えた今、こう思います。「隊員としてカンボジアで過ごした 2 年間が「すごい」ものだったのかどうかはわからない。でも、自分がカンボジアで体験したこと出会った人々、理科の授業改善に取り組んだこと、すべてが楽しかった。やってよかった。」

周りに自分がどう映るかではなくて、自分がどうなりたいか考えよう。こんな風に考えるようになったことが私の 2 年間の変化でした。カンボジアで現地の人たちに伝わるまで話をし、分かるまで話を聞き、家族のように食卓を囲む生活の中でそんな変化が起きたのだと思います。また私の周りには、悩みながらも挑戦を続ける素敵な隊員たちが沢山いました。頑張る理由は「自分がやりたいから」「相手（カンボジア人）の笑顔が見たいから」そして「10 年後もっと素敵な自分でいたいから。」誰のためでもなく自分のために努力する隊員たちから良い刺激を沢山貰いました。

今は、貴重な体験が出来たことに感謝しています。でも、こんな体験はカンボジアだから出来たこと？きっと違います。相手と対話を重ねる事、自分のために努力する事、自分で考える事。そんな毎日の積み重ねが「10 年後の自分を作る」と思います。　また、どこかでお会いしましょう！

私のブログ　はじめのい～っぽ http://seiko-hakozaki.cocolog-nifty.com/